



**JASDAQ**  
証券コード：4970  
URL <http://www.toyogosei.co.jp/>

株主の皆様へ

 **TOYO GOSEI**

第56期 事業報告書

(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

 東洋合成工業株式会社

# Financial Highlights

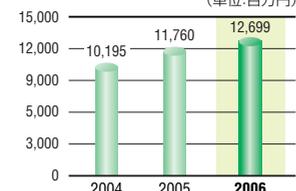
## 決算ハイライト

経営成績	当 期 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	前 期 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)
売 上 高 (百万円)	12,699	11,760
営 業 利 益 (百万円)	1,149	1,775
経 常 利 益 (百万円)	979	1,545
当 期 純 利 益 (百万円)	642	985
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)	73.96	132.10
1 株 当 たり 配 当 金 (円)	24.00	17.50

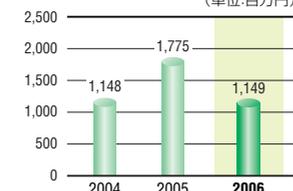
財政状態	当 期 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	前 期 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)
株 主 資 本 (百万円)	8,226	7,714
総 資 産 (百万円)	26,085	23,105

※本報告書中において百万単位で表示している金額は、単位未満を切り捨てております。

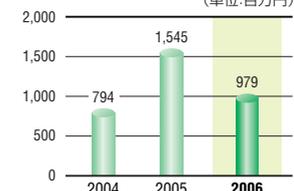
売上高 (単位:百万円)



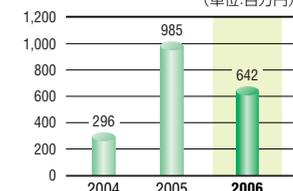
営業利益 (単位:百万円)



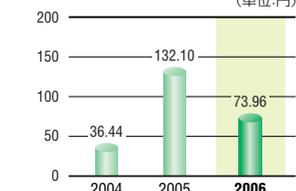
経常利益 (単位:百万円)



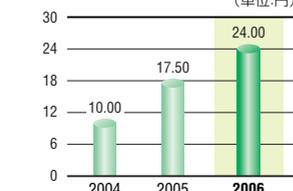
当期純利益 (単位:百万円)



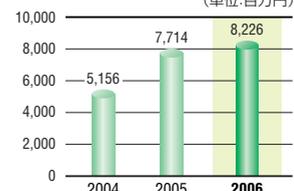
1株当たり当期純利益 (単位:円)



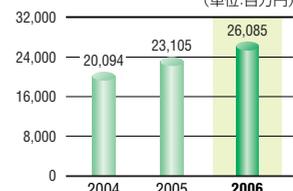
1株当たり配当金 (単位:円)



株主資本 (単位:百万円)



総資産 (単位:百万円)



# Message to Our Stakeholders

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、当社の第56期事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国経済は、原油価格高騰による輸入物価の上昇があったものの、企業業績改善にともなう民間設備投資の増加や雇用・所得環境の改善による個人消費の拡大など、デフレ脱却に向けた進展が見られ、景気は緩やかな回復基調に入りました。

こうした経済環境の中、当社の関連業界のエレクトロニクス業界は、期初は、前年後半からの在庫調整の影響で市場停滞感はありましたが、その後の薄型テレビを中心としたデジタル家電やパソコン、携帯電話などの需要拡大に支えられ堅調に推移いたしました。また、廃溶剤リサイクル業界は、VOC排出抑制など環境問題の高まりとともに、使用済み溶剤、廃液などのリサイクル市場は拡大傾向にあります。

このような状況の中、当社は、感光材、化成品並びにロジスティックの全事業部門において積極的な営業活動と生産性向上に努めてまいりました。また、急増する需要に対応するため千葉第二工場を建設するなど生産能力増強に努めてまいりました。

今後とも経営資源の最適な配分と財務体質の健全性維持に努め、株主価値の最大化を期してまいります。一層の全社的なコンプライアンス体制を整備し、企業倫理の徹底を図る一方、環境保全にも配慮しつつ事業を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月



代表取締役社長 木村正輝

# Segmental Information

## 各事業部門のご紹介

### ■ 感光性材料事業

### Photosensitive Materials Business



感光性材料事業で、製造を行っている感光性材料フォトレジストは、半導体集積回路の製造に加え、液晶ディスプレイ等の表示デバイスの量産には欠かせない存在です。当社は、10年、20年先を見据えた研究・開発に取り組み、“高性能かつ高品質”の感光材製品を量産し、国内だけでなく海外の電子材料メーカーからも高い評価をいただいております。

また、エネルギー事業では、感光性材料事業で25年間培った高純度精製技術を活かし、現在注目されているリチウムイオン二次電池・電気二重層キャパシター製造の材料となるイオン液体・電解液の事業を推進しております。

### ■ 化成品事業

### Chemicals Business



香料事業は、アルコールからアルデヒド、ケトン、脂肪酸への酸化技術等を用い生産しており、高品質、安価だけでなく、香料として一番重要な“匂い”が安定していることを特徴としており、国内だけでなく海外の大手香料会社に大量供給し、高い評価をいただいております。

グリーンケミカル事業は、廃溶剤を回収し、精製分離するリサイクル事業を推進しております。また、VOCの回収リサイクルも開始し、環境の保全にも貢献してまいります。

### ■ ロジスティック事業

### Logistics Business



ロジスティック事業を扱う高浜油槽所は、東京湾岸の中心に位置し、首都高速道路網へ2分でアクセスできる最適な立地条件にあります。43,000㎡の広大な敷地に様々な容量、材質、機能を持つ化学品保税タンク61基（総容量51,400kl）設置し、効率的なサービスを提供しております。

詳しくはホームページ <http://www.toyogosei.co.jp> をご覧ください。

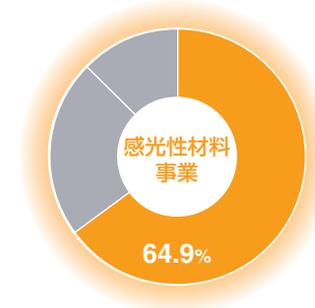
# Business Overview

## 事業別の概況

### ■ 感光性材料事業

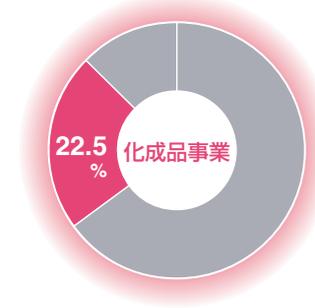
当事業の主要関連産業であるエレクトロニクス業界は、薄型テレビを中心としたデジタル家電やパソコン、携帯電話などの需要拡大に支えられ堅調に推移いたしました。

こうした状況の中、期初の在庫調整の影響や価格下落があったものの総じて堅調な需要に支えられ、用途別の売上高では、液晶向けが2.2%減少しましたが、半導体向けが12.8%増加した結果、当事業の売上高は8,235百万円（前年同期比+292百万円、+3.7%）となりました。



### ■ 化成品事業

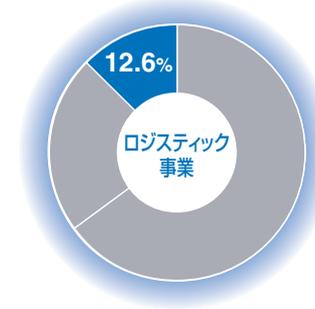
当事業の関連業界である廃溶剤リサイクル業界は、VOC排出抑制など環境問題の高まりとともに、使用済み溶剤、廃液などのリサイクル市場は拡大傾向にあります。一方、汎用化学品業界は国際的な競争激化や原料価格の高騰があり、依然厳しい状況が続いております。こうした状況の中、当社は積極的な営業活動を展開した結果、用途別の売上高では、機能性材料が40.2%増加し、香料材料が12.4%増加した結果、当事業の売上高は2,862百万円（前年同期比+530百万円、+22.8%）となりました。



### ■ ロジスティック事業

物流コスト削減のための物流基地の見直し、集約化の動きは続いており当事業を取り巻く環境は依然厳しい状況にあります。当社は、こうした厳しい環境に打ち勝つため、立地条件の良さや生産活動で培った液体化学品の高度な取扱・保管技術を背景に精力的な営業活動を展開いたしました。

景気回復の兆しの中、液体化学品の物流量が増加し、タンク部門・ドラム倉庫部門ともに稼働率が好調に推移し、当事業の売上高は1,601百万円（前年同期比+114百万円、+7.7%）となりました。





## ロッテルダムに物流拠点を設置(H17.04)

欧州の香料メーカーとの取引拡大に対応するためオランダ・ロッテルダム市に物流拠点を設置しました。

これにより、今まで1ヶ月以上を要していた欧州向けの納期が1週間弱に短縮されることになり、より充実した顧客サービスを提供できるようになりました。

## 千葉第二工場完成(H18.04)

平成18年4月当社千葉工場の隣接地に新たに千葉第二工場が完成いたしました。千葉第二工場は、急増するLCD市場の需要増に対応するため、現在市川工場で生産している感光性材料の原料（NAC-5）生産設備の増強を目的としております。既存の市川工場の生産設備と比較して生産数量で2倍の生産能力を確保する予定であります。



## ホームページ全面リニューアル(H18.05)

平成18年5月当社ホームページを全面リニューアルいたしました。事業内容並びにIR情報など一層充実した内容といたしました。ぜひご覧ください。

<http://www.toyogosei.co.jp/>



### ■ バイオと感光材

バイオテクノロジー（生物工学）は、バイオロジー（生物学）とテクノロジー（技術）の合成語で、生物学の知見を私たち人間の生活に役立つように応用する技術です。バイオテクノロジーを用いたバイオ関連産業市場は、2010年までに230兆円まで拡大すると言われており（欧州委予測）、21世紀最大の成長市場とされています。当社のバイオグループでは、創薬、再生医療、診断等に有用なバイオチップ、細胞アレイ等に使用されるバイオマテリアルの開発に取り組み、当社のコアテクノロジーである感光材と生体適合性ポリマーを結びつけた、感光性バイオマテリアルであるBiosurfine-AWPという製品を開発いたしました。

### ■ 当社のバイオ製品

#### BioSurfina-AWP（高解像度・水溶性感光性樹脂）

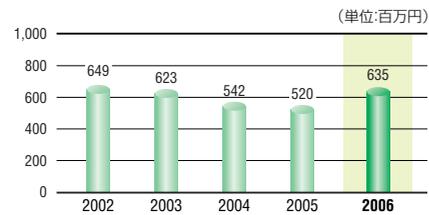
AWP（Azide-unit Pendant Water-soluble Photopolymer）は、アジド系感光基をポリビニルアルコールにペンダントした水溶性の感光性樹脂で、光（300nm～400nmの紫外光）を照射することでゲル化します。AWPは、水溶性感光性樹脂でありながら、プレコート処理なしにガラス板上で、高解像度のパターニング性が実現でき、バイオチップ・バイオセンサー用途（タンパク質・酵素の固定化）あるいは細胞アレイへの応用が期待されます。

#### 製品の特徴

1. 生理活性物質に影響の無い波長（300nm～400nm）の光でゲル化し、適度な感光性を有する。
2. 光照射により非常に活性な化学種であるナイトレンを生成。
3. 感光液の希釈、現像が水だけででき、生理活性物質に悪影響がない。
4. 高解像度のパターニングが可能。

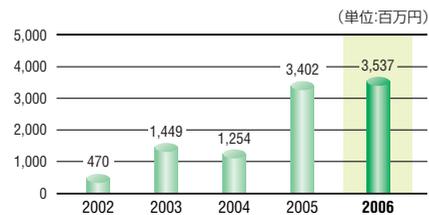
## 研究開発費について

平成18年3月期は研究設備の拡充などにより、研究開発費は635百万円（前年同期比+114百万円+22.0%）となりました。「当社の生命線は研究開発力にある」という理念のもと、10年、20年先を見据えた研究・開発に取り組み、新製品の研究開発を行っております。



## 設備投資額

LCD市場並びに半導体市場の需要拡大に対応するため、2期連続の大型設備投資を実施いたしました。



## ■ 貸借対照表 (要旨)

(百万円未満切捨表示)

科目	期別	
	当期 平成18年3月31日現在	前期 平成17年3月31日現在
資産の部		
流動資産	9,144	8,162
固定資産	16,941	14,943
有形固定資産	15,801	13,908
無形固定資産	158	192
投資その他の資産	982	843
資産合計	26,085	23,105
負債の部		
流動負債	11,616	9,976
固定負債	6,242	5,415
負債合計	17,859	15,391
資本金	1,618	1,618
資本剰余金	1,541	1,541
利益剰余金	4,889	4,471
株式等評価差額金	177	83
自己株式	△ 0	△ 0
資本合計	8,226	7,714
負債及び資本合計	26,085	23,105

## ■ キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(百万円未満切捨表示)

科目	期別	
	当期 自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日	前期 自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,562	1,785
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,402	△ 1,543
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,235	△ 69
現金及び現金同等物の期末残高	1,066	668

## ■ 損益計算書 (要旨)

(百万円未満切捨表示)

科目	期別	
	当期 自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日	前期 自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日
売上高	12,699	11,760
売上原価	9,671	8,249
売上総利益	3,027	3,511
販売費及び一般管理費	1,877	1,735
営業利益	1,149	1,775
営業外収益	79	61
営業外費用	249	291
経常利益	979	1,545
特別利益	27	28
特別損失	14	23
税引前当期純利益	992	1,550
法人税、住民税及び事業税	397	676
法人税等調整額	△ 47	△ 111
当期純利益	642	985
前期繰越利益	114	107
中間配当額	97	52
当期末処分利益	658	1,040

## ■ 利益処分

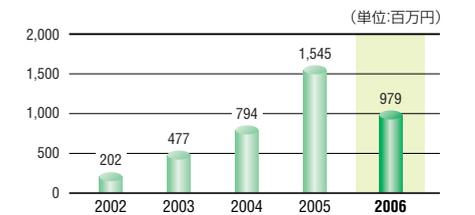
(百万円未満切捨表示)

科目	期別	
	当期 自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日	前期 自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日
当期末処分利益	658	1,040
これを次のとおり処分いたします。		
利益処分量	537	926
利益配当金	97	81
役員賞与金 (内監査役賞与金)	40 (5)	45 (6)
別途積立金	400	800
次期繰越利益	120	114

(注) 1. 平成16年12月10日に52,192,275円（1株につき7円50銭）の中間配当を実施いたしました。  
2. 平成17年12月9日に97,698,120円（1株につき12円）の中間配当を実施いたしました。

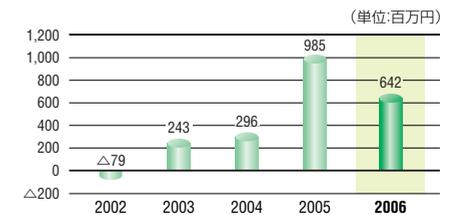
## 経常利益

設備投資実施による減価償却費などの諸経費増加やたな卸資産廃棄損等の計上により平成18年3月期の経常利益は979百万円（前年同期比△566百万円、△36.6%）となりました。



## 当期純利益

平成18年3月期の中間純利益は642百万円（前年同期比△343百万円、△34.8%）となりました。



# Stock Information

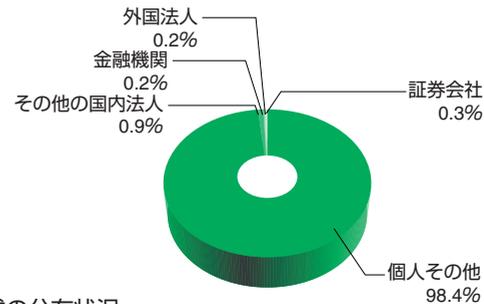
## 株式の状況 (平成18年3月31日現在)

- 会社が発行する株式の総数 30,000,000株
- 発行済株式総数 8,143,390株
- 株主数 5,813名

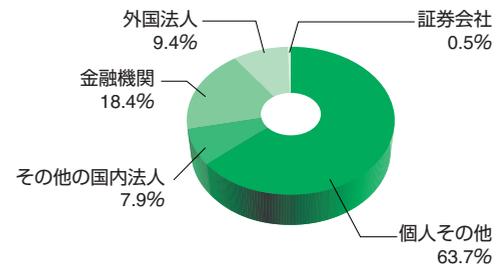
### ■ 大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
木村正輝	1,743,770	21.4
木村有仁	323,100	3.9
木村愛理	323,000	3.9
千葉銀行	298,100	3.6
東京都民銀行	298,000	3.6
エイチエスピーシー ファンド	257,400	3.1
片岡文子	240,000	2.9
日本マスタートラスト信託銀行	227,900	2.8
エフイーエル オービーブイエル アカウント	217,700	2.6
木村源四郎	210,100	2.5
早稲田大学	200,000	2.4

### ■ 株主の分布状況



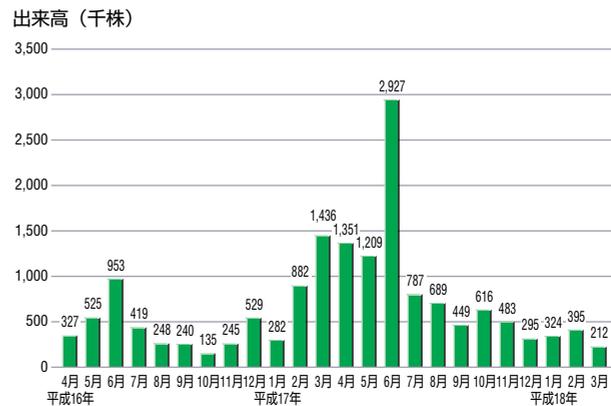
### ■ 株式の分布状況



### ■ 株価の推移



### ■ 株価売買高の推移



# Corporate Profile

## 会社の概要 (平成18年3月31日現在)

- 商号 東洋合成工業株式会社
- 設立 昭和29年9月27日
- 資本金 1,618,888,703円
- 従業員数 343名
- 事業内容 有機工業薬品・有機溶剤等の製造並びに販売  
画像形成用の感光性材料等の製造並びに販売  
電子表示機器の材料等の開発・製造並びに販売  
電池材料並びに電気二重層材料等の研究・開発、製造並びに販売  
倉庫業(液体化学品の保管管理)  
貨物運送取扱業
- 事業所 東京営業所  
東京都中央区八丁堀4丁目13番1号  
高浜油槽所  
千葉県市川市高浜町7番地  
感光材研究所  
千葉県印旛郡印旛村若萩4丁目2番地1  
市川工場  
千葉県市川市上妙典1603番地  
千葉工場  
千葉県香取郡東庄町宮野台1番51号  
ヨーロッパ事務所  
Teleport Towers Kingsfordweg 151  
1043 GR Amsterdam The Netherlands
- 関係会社 TG Finetech Inc.

### ■ 役員

- 代表取締役社長 木村正輝
- 専務取締役 春田雅彦 (総務部長)
- 取締役 菊池薫 (感光材事業本部長)
- 木村英夫 (新規事業開発部長)
- 村正子 (海外部長)
- 野淳一 (化成事業本部長)
- 辺宏一 (ロジスティック事業本部長)
- 越後谷桂之介 (社外取締役)
- 伊藤衛 (常勤)
- 青木久昂
- 岡野早苗
- 柴田武弘

# Information

## お知らせ

### ■ 株主優待

毎年3月31日・9月30日現在において、株主名簿に記載のある100株以上の株式を所有されている株主様に下記のご優待をご用意しております。

株数	100株以上
優待品	2,000円相当の千葉県特産品

平成18年3月期末株主様へは、千葉県の誇るブランド米である千葉県香取郡多古町産コシヒカリ2kgと野菜セット(大和芋他)を、6月上旬~6月中旬にかけて贈呈いたしました。

### ■ アンケートにご協力ください

ご協力いただいた方のうち抽選で100名様にQUOカード1,000円分を8月下旬に送付させていただきます。  
※平成18年7月31日(月)当社着にて締め切らせていただきます。  
※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。  
※回答欄の下部に必ず株主番号及びお名前・会社名をご記入願います。



※アンケートご記入後、同封のプライバシー保護シールを宛名面の下段に貼って投函してください。  
※個人情報保護に配慮し、ご記入いただいた個人情報は当社のIR活動以外に活用することはありません。

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
剰余金の配当の基準日	3月31日
	中間配当を実施するときは9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
	※その他必要がある場合は、予め公告いたします。
1単元の株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (郵便物送付先及び連絡先)	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
単元未満株式の買取請求	単元未満株式の買取りは上記の株主名簿管理人の事務取扱場所及び取次所でお取扱いいたしております。



ホームページをリニューアルいたしました。是非ご覧ください。

<http://www.toyogosei.co.jp/>

# 東洋合成工業株式会社

〒272-0012 千葉県市川市上妙典1603番地  
TEL047-327-8080 FAX047-327-8055  
E-mail : ir@toyogosei.co.jp

